

# 可児郷土歴史館だより

No. 11  
1995.3.31  
発行  
可児郷土歴史館

可児郷土歴史館では、春の企画展として「可児市陶芸作家展」を開催いたします。

これは、市内在住の陶芸家の皆様の新作を広くご紹介するもので、今回で第6回目を迎えることになりました。

可児市の久々利地区は、美濃焼発祥の地として有名ですが、ここで生み出された志野や瀬戸

黒、黄瀬戸、織部などの焼ものは、平成の今もなお、この地を中心にその伝統技術が受け継がれています。

今回は、18名の作家の方の新作33点を展示いたします。花フェスタ'95の寄り道に、ぜひご来館下さい。

尚、充実した常設展も合わせてご覧下さい。

第6回

## 「可児市陶芸作家展」

平成7年3月24日(金)～6月4日(日)

「花フェスタ'95」開催期間中は、そのチケットをご提示いただきますと、可児郷土歴史館の入館料が半額になります。

※ 展示品の一部をご紹介します。尚、会期中に展示品を入れ替えすることがあります。  
(作者の五十音順、敬称略にて掲載)



志野水指 (奥磯太覚 作)



織部手鉢 (奥磯照子 作)



赤織部水指 (加藤弥右衛門 作)



志野茶碗 (加藤安道 作)



織部華紋大皿 (加藤芳右衛門 作)



黄瀬戸楊柳観音図大皿 (佐藤鍋平 作)



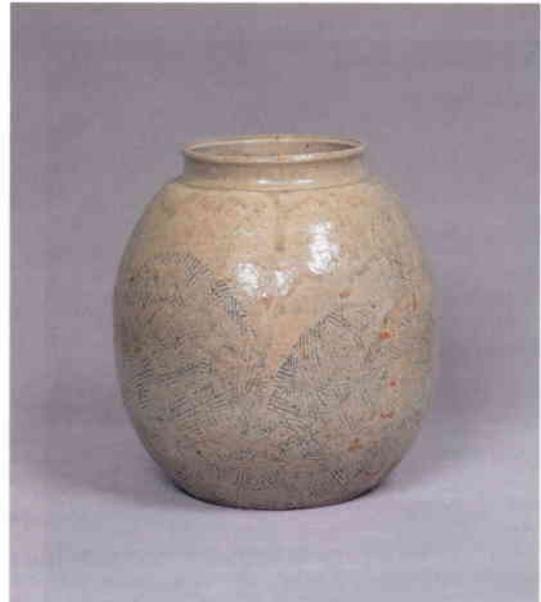
かけわけ盛皿 (佐藤公一郎 作)



赤志野手付花入 (佐藤比良夫 作)



鳴海織部手鉢（瀧口喜兵衛 作）



灰釉壺（月村正比古 作）



瀬戸黒茶碗（豊場惺也 作）



志野茶碗（原 憲司 作）



玲子画色絵草花虫文皿（藤井敬之 作）



油滴天目茶碗（松田弘山 作）



鼠志野一輪花入（守谷宏一 作）



黄瀬戸朝顔形向付五客（山下真喜 作）



黄瀬戸皿（大和征夫 作）



絵志野茶碗（吉田喜彦 作）

**利 用 案 内**

**可児郷土歴史館**（可児市久々利1644-1 ☎64-0211）  
 休 館 日 月曜日と祝日の翌日  
 開館時間 午前9時～午後4時30分  
 入 館 料 大人300円、小人70円

**財豊蔵資料館**（可児市久々利352 ☎64-1461）  
 休 館 日 月・火・水・木曜日（祝日を除く）  
 開館時間 午前10時～午後4時  
 入 館 料 無料